

6. しかり方ほめ方

⑤ 子どもがかわる“ピカッとことば”

《ねらい》

○子どもの気持ちに寄り添ったほめ方、叱り方について役割演技をしたり、話し合ったりすることを通して、場面や状況に適したよりよい言葉かけについて考える。

《準備物》

- ファシリテータ：ワークシート、動物カード（アイスブレイク用）、大人と子どもの挿絵
- 参加者：筆記用具

	時間	主な活動	発言	留意点
導入 (10)		1. 学習のねらい		
		子どもへの言葉かけは大切と分かっていても、日々の生活の中で感情に任せて言うことはありませんか。今日は、普段、つい言う言葉や子どもはどんな気持ちで聞いているかを体験しながら、子どもへのより良い言葉かけについて考えていきましょう。その前に、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。		
		2. アイスブレイク ・動物あて	アイスブレイク編P.10 参照	・4人グループに分ける。
		3. ルールとマナーの確認	P.6 参照	
展開 (30)	5	4. ワークシートに記入する。 ・会話のシナリオ（ワーク1）	4. エピソードの状況のようなことはありませんか。情景を思い起こしながら、日常での会話を想像して ワーク1 に書いてください。	・1、2どちらかを選び、指定してもよい。 ・理想ではなく、現実でありそうな会話を考える。
	15	5. グループごとにロールプレイする。	5. どんなシナリオができたかグループで紹介しあいましょう。その後、シナリオを選んで、親役と子ども役にわかれて、交代しながら演じてみましょう。	・シナリオは、グループでつくりなおしてもよい。 ・シナリオは1つでなくてもよい。
	10	6. グループで話し合う。 ・演じた感想 ・子どもへのことばかけのポイント（ワーク2）	6. 演じられてどうでしたか。感想を紹介しながら、子どもをやる気にさせるにはどんなことが大切なのか、子どもへの言葉かけのポイントを考えて、 ワーク2 にまとめましょう。	・2～3グループに発表してもらおう。
まとめ (10)	5	7. ふりかえり	7. 子どもをやる気にさせる言葉かけにはどんなことが重要でしょうか。今日を振り返って、気づいたことをワークシートにまとめてください。	
	5	8. まとめ	いかがでしたか。今日は、子どもの心を動かす、“ピカッとことば”について皆さんで共有していただきました。言葉かけひとつで子どもの心も動くことに気づきました。親の言い分を一方的に伝えるだけでなく、まずは子どもの思いを受け止めてみることで子どもの気持ちも変わってくるかもしれません。	

子どもがかわる“ピカッとことば”

子どもにとって「ことばかけは大切」と分かっているけど、日々の生活の中ではつい感情にまかせて言葉を発しているものです。子どものために思ってかけた言葉であっても、何気なく使った言葉でも、ひよっとすると子どもを傷つけていることもあるのではないのでしょうか。

どの家でもよくある場面を設定して、そこで普段どんな言葉かけをしているのか、それを子どもはどんな気持ちで聞いているのかなど体験してみましょう。

ワーク1 どんなやりとりが起こるでしょうか？シナリオを考えましょう。

<エピソード1>

夕方、仕事から疲れて帰ってくると、小学生の息子は散らかし放題のリビングでゲーム三昧。その能天気ぶりに「カーッ」となった私。「ゲームやめて片付けなさい!」といったものの、息子は一向にやめる気配なし。さて……。



<エピソード2>

昨日、「お家でのお手伝いを決めよう」という学校の課題があったので、親子で考えて「ベランダのお花の水やり」に決めた。今日の夕方から始めるはずだったが、疲れて寝ていて、声をかけても動く気配がない。さて……。



シナリオ:<エピソード()>

私:

子:

私:

子:

私:

子:



ワーク2 子どもへのことばがけのポイント



今日を振り返って